

2014年10月31日



## クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」 ブルネル賞授賞式について



去る10月15日、オランダ・アムステルダムにて、鉄道デザインの国際的なコンペであるブルネル賞の授賞式が開催されました。審査員長から賞全体に対する講評が行われた後、各部門のブルネル賞および奨励賞受賞作品が紹介され、青柳社長に盾と賞状の授与が行われました。詳細は下記のとおりです。

### 記

#### ● 授賞式について

JR九州としては3回連続7回目のブルネル賞受賞であり、当日は青柳社長が羽織袴姿で出席しました。

授賞式では、審査員長のフリッツ氏（Frits van Dongen：オランダ政府チーフアーキテクト）より青柳社長へブルネル賞の盾が手渡され、ななつ星に対する審査員の評価が司会のロブ氏（Rob Stringa：2014年ワトフォードグループ事務局）より紹介されました。その後、青柳社長より受賞スピーチが行われました。

#### ○ 審査員からの評価（一部抜粋）

「オリエント急行やフレンチ・リヴィエラの豪華老舗ホテルのような感覚も彷彿とさせるが、その感覚は一時的な印象に過ぎないことにすぐ気付くだろう。この列車では、調度品から食事、そして駅の建物にいたるまで、あらゆる面がデザインされ、極上の旅の体験の一部となっている。ここではデザインが知的で印象的なブランディングとマーケティングのツールとして活用されている。」

#### ○ 青柳社長スピーチ（一部抜粋）

「（ななつ星は）車両のデザインだけでなく、旅そのものをデザインすることに注力してきた。

今回、審査員の方々がそのような点を評価して下さったことを大変嬉しく感じている。この受賞を機に欧州でのPRを更に広げていきたい。」



なお、授賞式終了後は、会場2階に展示してあった応募パネルを囲み、審査員や事務局、参加者の方々と応募作品について意見交換を行いました。ななつ星の設備についての質問や予約状況の問い合わせも受け、関心の高さが伺えました。



#### 【参考①】ブルネル賞について

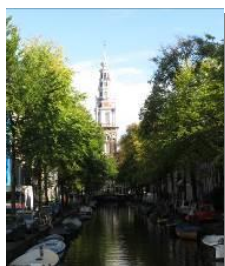
ブルネル賞は、鉄道に関するあらゆる分野の優良デザインを奨励・促進していくことを目的とするワトフォードグループにより、イギリスのグレート・ウェスタン鉄道創立150周年にあたる1985年に設立されました。賞の名称は、グレート・ウェスタン鉄道の技師、発明家及び建築家でもあったイザムバード・キングダム・ブルネル氏の名前から付けられ、2～3年おきに開催されています。

今回は12回目の開催で、世界各国の鉄道会社より92作品の応募があり、ブルネル賞19作品・奨励賞11作品がそれぞれ選ばれました。

#### 【参考②】ワトフォードグループについて

1963年にイギリス、オランダとスウェーデンの各国国鉄の建築家やデザイナー等の集まりとして発足したグループ。その後、欧州、アメリカ、アジアへとメンバーを増やし、国境を越えての意見交換を奨励するとともに、鉄道関連の建築・デザインの発展に寄与することを目的としたワトフォード会議を年1回開催しています。グループ名は最初の会議が開かれたイングランドの南部の町「ワトフォード」にちなんで名付けられました。

#### 【参考③】ブルネル賞授賞式会場について



オランダ・アムステルダムにある南教会（Zuiderkerk）で行われました。南教会は1603年から1611年にかけて建てられたアムステルダムで初のプロテスタント向けの教会です。八角形の美しい塔が印象的なルネッサンス様式の建物で、レンブラントやモネの題材にも使われました。

（事務局発行のパンフレットより）